



国民に力を。 安全安心を実現。

立憲民主党埼玉県第1区総支部長

たけまさ 公一

立憲民主編集部

〒102-0093

千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F

Tel.03-6811-2301 Fax.03-6811-2302

goiken@cdp-japan.net

https://cdp-japan.jp

連絡先

立憲民主党埼玉県第1区総支部

〒330-0074

浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

Tel.048-832-3810 Fax. 048-832-3846

voice@takemasa-k.jp

https://takemasa-k.jp

政治を正さなければならない

昨年衆議院議員選挙では96690票というご支援をいただきながら議席を得ることができず誠に申し訳ございませんでした。

立憲民主党大会、県連大会でも衆議院議員選挙の総括を行い「党として候補者として有権者の皆様に明確な考えや政策を示せなかった」「野党間の選挙協力の前に、その議論が必要であった。閣外協力という言葉も誤解を与えた」。

特に、外交安全保障やエネルギー政策、財政政策等については現実に向き合い、具体策を提案しなくてはならないと考えます。

私、たけまさ公一は、3月22日の党本部常任幹事会にて立憲民主党埼玉県第1区総支部長として活動を再開することが承認されました。

コロナ後を見据えての日本、埼玉のあり方について、ウクライナ危機など外交安全保障政策について等諸課題は解決されていません。

引き続き「政治を正さなければならない」という旗を掲げ臨んでゆきます。

ロシアによるウクライナ侵攻は即時撤退を

2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は国際法違反の侵略として認められず即時撤退を求めます。ロシアに対しては、日本からの経済制裁を行うとともに、ウクライナに対しての可能な限り支援が必要です。

3月12日には、立憲民主党県連として浦和駅にてUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）宛ての募金活動を行いました。引き続き寄付を呼びかけてまいります。

私は、国会のUNHCR議員連盟の役員を務めました。国連グテーレス事務総長も元高等弁務官として、現グランディ高等弁務官にも、議員連盟や外務副大臣として各地難民問題で連絡を取ってきました。また、民主党政権時代には、第3国定住（難民を日本が仲介して別な国で受け入れる）も始めました。

また、長年、ウクライナの西側の隣国である、スロバキアとの議員連盟幹事長も務めました。スロバキアなど難民受け入れ国への支援も進めます。

次期参議院
議員選挙
(埼玉選挙区)に
高木まりさんを
公認決定

marit.jp



子育て世代応援団！

2月8日、立憲民主党は今年7月に行われる参議院選挙の埼玉県選挙区において、高木まり県議（さいたま市北区選出）の公認を決定しました。

高木まり県議は、さいたま市立常盤中学校、お茶の水女高、東京大学、枝野幸男衆議院議員秘書等を経て、さいたま市議2期、埼玉県議3期。3人の子ども（長女・長男次男の双子）を育てる母親でもあります。

核共有の議論について

2010年3月、岡田外務大臣とともに副大臣として、私は、半年にわたる「日米密約」解明に関わりました。特に、日米安保改定時に、沖縄に米国が核持ち込みに際して必要とされる事前協議を行わないという密約が明らかになりました。歴代自民党総理、内閣が密約の存在を否定してきたことが虚偽でありました。これも、政権交代の成果と言われるところです。

一方、米国の核の傘のもと、こうした虚偽がまかり通ってきたのはロシア、中国などの核保有国の存在があったのは間違いありません。そして、近年はそれに北朝鮮が加わろうとしています。日本は非核3原則（持たず・作らず・持ち込ませず）を堅持してきましたが、密約のもとで「持ち込ませず」が守られていなかったのではないかとされます。

今回のロシアのウクライナ侵攻で、にわかに、NATO（北大西洋条約機構）同様に米国との「核共有」の議論を求める声が上がりました。30ヶ国が加盟するNATOは集団自衛を目的とする組織で、同じように日米安保体制を比較することはできません。また、密約が隠されていたことから、政府による説明責任ならびに情報開示が欠かせません。

安全保障の議論と共に外交の議論等総合的な議論が不可欠です。議論は必要ですが、「核共有」をことさら取り出している議論には与しません。

コロナウイルス対策

第6波の下、3回目のワクチン接種並びに5歳から11歳の子どもの接種が行われています。また、感染対策の国内薬の承認も進んでいます。十分な説明の下、その実施を求めます。感染症法の見直しについては、

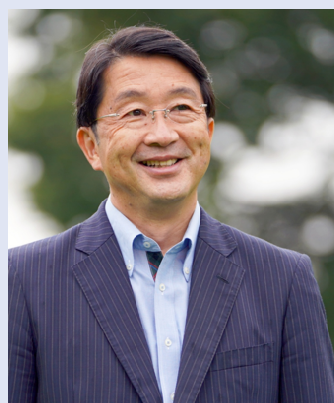
議論が進んでいません。2類と5類を折衷した見直しなどを求めてゆきます。立憲民主党は、オミクロン・感染症対策支援法案を提出しました。

コロナウイルス感染期に、リモート診療、遠隔医療、テレナーシング（遠隔看護）などが進んでいます。札幌医科大学竹政教授の内視鏡外科手術の遠隔指導が報じられました。こうした取り組みで、手術技術の向上と普及教育を目指すことも必要です。

また、この2年大野埼玉県知事に仲間と共に提言を続けている「訪問診療、訪問看護を進める」「そのために地域の中核病院を地域の基幹病院に格上げする」「医療従事者、介護従事者の待遇改善、支援を進める」ことを引き続き求めてゆきます。

特に、ワクチン開発等の課題解決には、ポスドク問題等大学、大学院の若手研究者支援、加えて、小学校からの職業教育、専門高校の充実、氷河期世代を中心に社会人の再教育支援が不可欠です。衆議院議員選挙でも訴えましたが、引き続き強力に実現を期します。

埼玉県第1区総支部長 たけまさ(武正) 公一



1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。

木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大学法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。

1995年埼玉県議初当選。

2000年衆議院議員初当選、以後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。2017年に議席を失うが、国民主権の理想を掲げ捲土重来を期す。

第209回 たけまさ公一と 語る会

「新年度を迎えて！」
4月10日（日）午後2時より
北浦和カルタスホール

新型コロナウイルス感染防止のための対策を取り開催します。

お申し込みはこちらから➡



埼玉1区 ボランティア 募集中！

たけまさ公一と共に、政治を変えるアクションを起こしませんか。イベント企画やポスティングなど皆さんのできるやり方で少しづつ。

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

立憲埼玉1区からのお知らせ

たけまさ公一
公式サイト
takemasa-k.jp

ボランティア活動や語る会の詳細、お申し込み方法などは公式サイトをご覧ください。

たけまさで検索！



たけまさ公一
SNSやってます！

